

トヨタ 環境保全努力を強調

テストコース建設で説明会

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車の新テストコースと研究開発施設の建設に関する説明会が十九日、豊田市八幡町のスカイホール豊田であり、県企業庁やトヨタ自動車概要や自然環境調査結果などを報告。市民ら二百四十人が参加した。

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車の新テストコースと研究開発施設の建設に関する説明会が十九日、豊田市八幡町のスカイホール豊田であり、県企業庁やトヨタ自動車概要や自然環境調査結果などを報告。市民ら二百四十人が参加した。

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車の新テストコースと研究開発施設の建設に関する説明会が十九日、豊田市八幡町のスカイホール豊田であり、県企業庁やトヨタ自動車概要や自然環境調査結果などを報告。市民ら二百四十人が参加した。

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車の新テストコースと研究開発施設の建設に関する説明会が十九日、豊田市八幡町のスカイホール豊田であり、県企業庁やトヨタ自動車概要や自然環境調査結果などを報告。市民ら二百四十人が参加した。

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車の新テストコースと研究開発施設の建設に関する説明会が十九日、豊田市八幡町のスカイホール豊田であり、県企業庁やトヨタ自動車概要や自然環境調査結果などを報告。市民ら二百四十人が参加した。

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車の新テストコースと研究開発施設の建設に関する説明会が十九日、豊田市八幡町のスカイホール豊田であり、県企業庁やトヨタ自動車概要や自然環境調査結果などを報告。市民ら二百四十人が参加した。

トヨタ自動車は、次世代技術の開発に、施設が不可欠だと説明。造成・建設に着手後も、敷地内の生物の生息環境の変化などを調査し、影響が大きければ計画見直しを含め、環境保全に努める方針を明らかにした。「建地元住民からは「建

進めるべきだと指摘した。

今回の説明会は、保護動物の新たな発見を踏まえ、開発区域を二百七十㊦に縮小し着工を一年ほど先延ばしする計画変更に伴い開催した。ただ、県野鳥保護連絡協議会などの環境保護団体は出席を見送った。

(杉山直之)